

## Web 資料 3

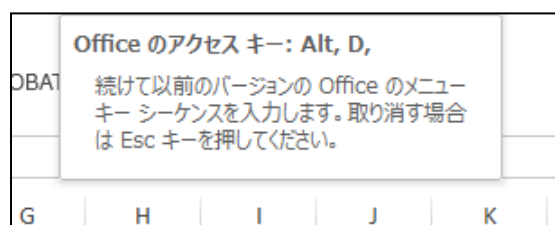
### 統合語彙表の作成

この資料では、第 4 章の例題 2 で作成する統合語彙表の作成手順を説明する。

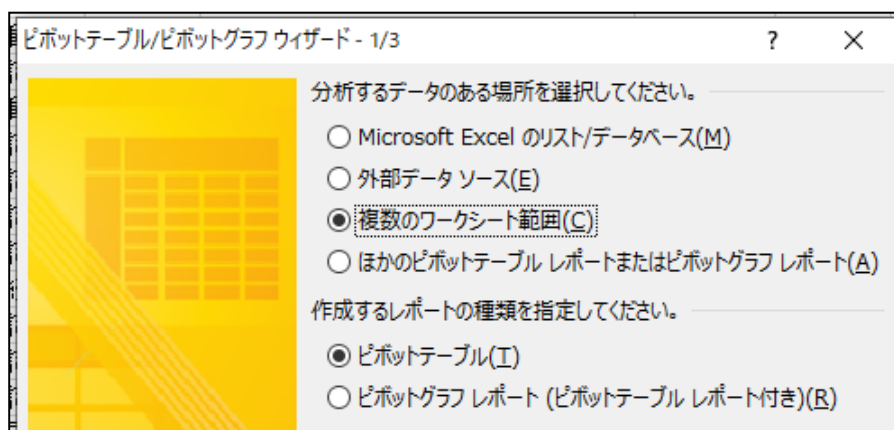
- (1) 語彙表を作成した後、新しいワークシートを挿入する。語彙表全体をコピーした後、挿入した新しいワークシートに「値」で貼り付ける。
- (2) E 列に 1 列挿入し、関数を使って、語彙素、語彙素読み、大分類、語種を連結させた情報を入力する。F 列の列名「データの個数 / 書字形 (=表層形)」を作品名に変更する。以上の操作を全ての作品に行う。

語彙素	語彙素読み	大分類	語種	語彙素_語彙素読み_大分類_語種	蜘蛛の糸
の	ノ	助詞	和	の,ノ,助詞,和	119
ます	マス	助動詞	和	ます,マス,助動詞,和	69
て	テ	助詞	和	て,テ,助詞,和	67
だ	ダ	助動詞	和	だ,ダ,助動詞,和	59
に	ニ	助詞	和	に,ニ,助詞,和	56
た	タ	助動詞	和	た,タ,助動詞,和	48
と	ト	助詞	和	と,ト,助詞,和	47
を	ヲ	助詞	和	を,ヲ,助詞,和	46
は	ハ	助詞	和	は,ハ,助詞,和	46
が	ガ	助詞	和	が,ガ,助詞,和	35

- (3) いずれかの作品（以下、本資料では「蜘蛛の糸」を例に使う。）の語彙表にカーソルを置いて、[Alt] + [D] を押す。



- (4) 上記のメッセージが出たら、[P] を押す。[ピボットテーブルウィザード] が起動する。



図のように「複数のワークシート範囲」「ピボットテーブル」を選択し、「次へ」をクリックする

- (4) 次の画面で「指定」を選択し、「次へ」をクリックする。次に表示された画面で、「蜘蛛の糸」の語彙表の E 列・F 列を選択し、「追加」ボタンをクリックする。同様に、「蜜柑」「猿蟹合戦」の E 列・F 列を選択し、「追加」ボタンをクリックする。最後に「次へ」をクリックする。

語彙素_語彙素読み_大分類_語種	蜘蛛の糸
の,ノ,助詞,和	ピボットテーブル/ピボットグラフ ウィザード - 2b/3 統合するワークシートの範囲を指定してください。 範囲(R): Sheet2!\$E\$1:\$F\$403 追加(A) 削除(D) 範囲一覧(L):
ます,マス,助動詞,和	
て,テ,助詞,和	
だ,ダ,助動詞,和	
に,ニ,助詞,和	
た,タ,助動詞,和	
と,ト,助詞,和	
を,ヲ,助詞,和	

- (5) 次の画面で「新規のワークシート」を選択して、「完了」ボタンをクリックする。  
以下のような表が作成される。

合計 / 値	列ラベル			
行ラベル	猿蟹合戦	蜘蛛の糸	蜜柑	総計
ああ,アア,感動詞,和,	1			1
アキラ,アキラ,名詞,固,			1	1
アサマ,アサマ,名詞,固		1		1
あっ,アッ,感動詞,和		1		1
あの,アノ,感動詞,和		1		1
あの,アノ,感動詞,和,			2	2
いらっしゃる,イラッシャル,動詞,和		2		2

- (6) 新しいワークシートを挿入して、上記の語彙表を「値」で貼り付ける。  
A 列と B 列との間に 3 列挿入した上で、A 列を選択する。メニューから「データ」→「区切り位置」を選択する。ウィザードの画面で以下のとおり選択していく。
- ※ ウィザード 1/3  
元のデータの形式：カンマやタブなどの区切り文字によってフィールドごとに区切られたデータ
- ※ ウィザード 2/3  
区切り文字：カンマ
- ※ ウィザード 3/3  
初期の設定のまま「完了」ボタンをクリックする。

(7) A 列の情報が分割されたら、以下のように列名を変更する。

A 列：語彙素

B 列：語彙素読み

C 列：大分類

D 列：語種

語彙素	語彙素読み	大分類	語種	猿蟹合戦	蜘蛛の糸	蜜柑	総計
あっ	アッ	感動詞	和			1	1
あの	アノ	感動詞	和		1		1
あの	アノ	感動詞	和		1		1
いらっしゃる	イラッシャル	動詞	和		1		1
うつらうつら	ウツラウツラ	副詞	和			2	2
うようよ	ウヨウヨ	副詞	和		2		2
か	カ	助詞	和		5		5